

高遠町歴史博物館

『戦中日記から見る地域社会』

開催のお知らせ

伊那市立高遠町歴史博物館では、終戦記念日を迎えるこの季節に戦争関連の展示を開催しています。11年目の今年は、防空訓練や戦時下の産業などを記した「懷中日記」や「当用日記」などの戦中日記を中心とした実物資料と、地域の皆さんからお寄せいただいた「出征兵士と家族」の写真に家族のことはを添え、展示します。戦争の記憶をたどりながら戦争と平和について考えていただければ幸いです。

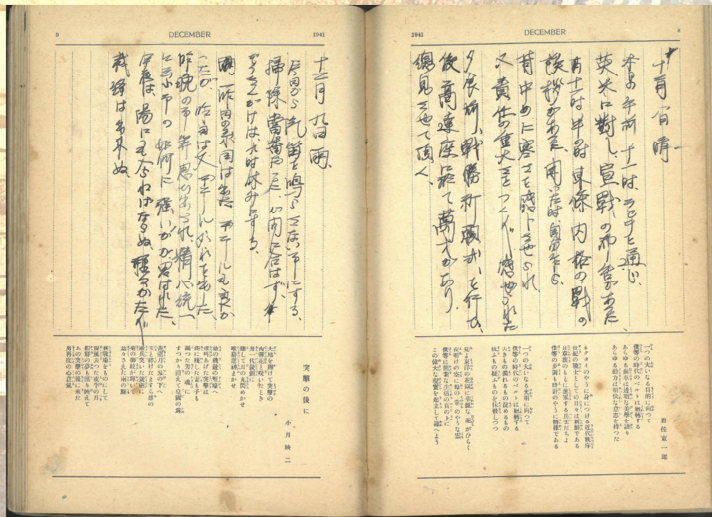
- 1 会 期 令和8年 7月18日(土) から 9月6日(日) まで
午前9時から午後5時まで (最終入館午後4時30分)
- 2 休館日 7/21(火)・22(水)・27(月)、
8/3(月)・12(水)・17(月)・18(火)・19(水)・24(月)・31(月)
- 3 会 場 伊那市立高遠町歴史博物館 2階セミナールーム (伊那市高遠町東高遠 457)
- 4 入館料 一般 400円 (団体 300円) / 高校生以下および18歳未満 無料
※身体障害者手帳などをお持ちの方と、付き添いの方1名の入館料は免除します。
※当館は、伊那市発行の「伊那市高齢者等暮らしいきいき応援券」利用可能施設です。
- 5 写真提供のお願い
歴史博物館では、地域に残る写真資料をデジタルアーカイブ化する取組を進めています。戦時に出征した方が家族と共に撮られた写真や戦前戦後の人々の暮らしを切り取った写真などをお持ちの方は博物館へお寄せください。当館でデジタル化させていただき、もとの写真にデジタル化したデータを添えてお返しします。デジタル化は無料です。写真をお寄せいただく方法などは、博物館までご連絡ください。
- 6 添付資料 ☒ 有 ・ 無

[本件に関するお問い合わせ先](#)

戦中日記から見る 地域社会

7/18(土)

▶ 9/6(日)



▶ 北村 あい子「令女日記」昭和16年(当館蔵)
河南村(現伊那市高遠町)の農家に生まれたあい子が製糸工場の女工として働きながら家事を担っていた様子を知ることのできる貴重な記録です。
12月8日には「英米に對し宣戦の布告があつた」、「自分乍ら背中に寒さを感じさせられ」と戦争に対する恐怖心を綴り、12月9日には「今夜は湯にも入らねばならぬ。種々かたがた裁縫は出来ぬ」といった日々の生活の忙しさを綴っています。

高遠町歴史博物館では、終戦記念日を迎えるこの季節に戦争関連の展示を開催しています。11年目の今年は、防空訓練や戦時下の産業などを記した「懐中日記」や「当用日記」などの戦中日記を中心とした実物資料と地域の皆さんからお寄せいただいた「出征兵士と家族」の写真に家族のことばを添え、展示します。戦争の記憶をたどりながら戦争と平和について考えていただければ幸いです。

■ 会 場 高遠町歴史博物館2階セミナールーム

■ 開館時間 午前9時から午後5時まで (最終入館は午後4時30分)

■ 入 館 料 一般400円 / 高校生以下 無料 ※身体障がい者手帳などをお持ちの方と付き添いの方1名の入館料は免除します。
(および18歳未満)

■ 休 館 日 7/21(火)・22(水)・27(月)、8/3(月)・12(水)・17(月)・18(火)・19(水)・24(月)・31(月)

— お寄せいただいた写真と 家族のことばをご紹介 —

伊藤 光廣 氏 提供 ▶

父は大正15年生まれで出征時19才。
伊藤家の8人兄弟の末っ子であり、写真には父の両親と兄弟そして甥、姪が写っています。
父は常々「戦争がもう少し長びけばこの世にいなかったかな」と言っていました。
その8年後に私は生を受ける事ができました。



■ 写真や関連資料をお寄せください。

出征した方とその家族の写真、戦前戦後の人々の暮らしを切り取った写真、「当用日記」など関連する実物資料をお寄せください。写真はデジタル化保存後にお返しいたします。博物館までご相談、お問い合わせください。

【問い合わせ先】 高遠町歴史博物館 電話: 0265-94-4444